

# 静岡県シ連だより



(写真)女性委員会メンバー 後列左から 県シ連 次長 野秋貴靖・清水町SC 係長 名倉久子・島田市SC コーディネーター 藤中政代・浜松市SC 係長 黒崎恵美子・吉田町SC 事務局長 大石邦貴・湖西市SC 事務局長 桂山洋一・県シ連 事務局長 山崎 敦・前列左から 伊豆市SC 理事 高橋さえ子・三島市SC 理事 中野美代子・島田市SC 副理事長 増田澄江(女性委員会委員長)・県シ連 会長 深田 勝・静岡市SC 理事 山田君代(女性委員会副委員長)・浜松市SC 理事 大塚幸子(敬称略)

## 目次

- 会長挨拶、連合会定時総会報告、役員等研修、陳情 …… 2
- 県シ連女性委員会の設置及び活動 …… 3
- 安全・適正就業推進委員会報告 …… 4
- 就業開拓委員会・就業促進事業 …… 5
- 高齢者活躍人材確保育成事業報告 …… 5
- 令和3年度「シルバー月間」の取組み …… 6
- 地域のシルバーセンターだより …… 7
- 健康寿命を延ばす運動提案 …… 8

## (公社)静岡県シルバー人材センター連合会

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5番地の1(静岡県勤労者総合会館4階)  
TEL(054)254-7240 FAX(054)205-4540 E-mail: shizuren@sjc.ne.jp  
発行日 令和4年3月吉日 発行人/深田 勝



会長挨拶



(公社)静岡県シルバー  
人材センター連合会  
会長 深田 勝

第41回定時  
総会の開会に  
あたりまして、  
一言ご挨拶を  
申し上げます。  
日頃から本  
連合会の事業  
運営につきま  
して、格別の

ご理解とご支援をいただいておりますことに、  
厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大により、  
私たちの日常生活は大きく様変わりするとともに、  
飲食業や観光業などへの打撃をはじめ、我が  
国の社会経済に大きな影響が及んでおります。  
シルバー事業においても、コロナの影響は計り  
知れず、会員の大規模な減少や仕事量の落ち込みな  
どにより、昨年度は多くのセンターの事業運営に  
支障が生じたこと承知しております。

令和3年度に入り、仕事の受注においてはよ  
やく改善の兆しが見え始めておりますが、会員数  
においては、企業の雇用延長制度の改正による影  
響もあり、厳しい状況が継続するのではないかと  
危惧しております。

しかし、こうした時だからこそ、県下のシル  
バー人材センターが力を合わせ、知恵を絞って、  
この難局を乗り越えていかなければなりません。  
本連合会といたしましては、各センターの皆様  
との連携を一層深め、シルバー会員の安全確保を  
最優先としつつ、拡大の余地が大きい女性会員の  
確保や、新しい就業先の開拓などに積極的に取り  
組み、シルバーに寄せられる地域社会の期待に応  
えるべく努力を重ねてまいります。

また、地域に根差したシルバー人材センターの  
特徴を活かし、人生百年時代に相応しいシルバ  
ー会員の活躍の場を提供してまいりたいと考えてお  
りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお  
願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のますますの御健勝と御活  
躍を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

役員等研修会

新型コロナの状況が落ち着いたこと、ワクチン接種が進んだこ  
とを踏まえて集会形式で開催

- 1 日 時 令和3年12月7日(火)
  - 2 会 場 静岡労政会館6階ホール
  - 3 参加対象者 各シルバー人材センターの理事・  
監事、事務局長 等
  - 4 内容
    - (1) 研修演題  
「インボイス制度がやってくる」  
講師：衣目成雄(ころめなるお)氏(公  
認会計士・税理  
士、全シ協会計  
経理検討委員会  
委員)
    - (2) 県シ連女性  
委員会の設置報  
告
    - (3) 意見交換
- ※多くのセンターが参  
加する機会であること  
から、本連合会の事業運  
営等に関して行なった。



(研修会風景)

連合会定時総会

新型コロナ禍の中、本人出席12、委任状出席1、書面出席21で  
開催

- 第41回定時総会が令和3年6月25日  
(金)に静岡労政会館5階第3会議室・  
展示室にて開催されました。令和2年  
度事業報告及び決算・監査報告につい  
て、また任期満了の役員(富士市SC  
都筑英樹理事)の表彰、新役員の富士  
市SC増  
田正之理  
事の選任  
が行われ  
ました。



(役員表彰)

陳情

静岡労働局・静岡県議会・市長会へ

令和3年10月14日(木)  
・静岡労働局長  
・静岡県議会正副議長  
・静岡県知事(経済産業部長)に対して、  
本連合会の正副会長がシルバー人材  
センター事業への支援についての陳  
情を行いました。

- (陳情内容)
- 1 補助金と公共事業の発注の確保
- 2 シルバー事業推進のための総合  
的支援の継続
- (1) 職域や会員の拡大などに関する  
県広報紙等による広報の支援
- (2) 子育て支援、介護保険制度改正に  
伴う介護予防・日常生活総合支援事業  
等人手不足  
分野への積  
極的参画の  
支援
- (3) 空き家  
管理、高齢  
者の安否確  
認等地域課  
題分野への  
積極的参画  
の支援
- (4) インボ  
イス制度の  
導入に伴う  
消費税負担  
を軽減する  
ための支援



(静岡県議正副議長への陳情)



(静岡労働局長への陳情)

# 県シ連女性委員会の設置及び活動

シルバー事業において女性が活躍する環境を整備するとともに、女性会員の拡大や女性役員・職員の活躍などを推進するため、令和3年10月、県シ連に新たに女性委員会が設置されました。

### (令和3年度事業)

- ① 令和3年10月のシルバー月間にあわせ、女性を意識した広報活動として、ポスターやTVCMの作成を検討した。
- ② 令和3年12月、県シ連の研修会において、増田委員長が挨拶、山崎事務局長が活動報告を行った。
- ③ 令和4年1月、東京でシルボン又全国大会が開催され、2名が出席した。
- ④ 今後の事業計画立案の資料とするため、各センターの女性役員、職員、会員数の調査及び女性部会・委員会設置に係るアンケートを実施した。



ありがとうは魔法のこぼ

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が作成した「女性活躍促進に向けたシンボルマーク」です。

### 増田澄江委員長(島田市SC副理事長)

挨拶



(左:増田委員長 右:山田副委員長)

皆さんご存じのとおり、昨年からの新型コロナウイルスの影響もあり、本県内のシルバー会員が本年度は大幅に減ってしまいました。これは、観光やイベントの自粛により、シルバー会員の仕事が少なくなっただけで、自分と家族が感染しないよう、できるだけ人と接することを避けようとするのが、シルバーを退会する要因となったとの報告が数多く寄せられました。こうした中、いかに会員を確保していくかを考えると、ターゲットは「女性」になるのではないかと思います。

現在、シルバーの会員の男女構成比は男性65%、女性35%となっています。女性の方が人口が多く、平均寿命も長いことを考えると、これから「女性会員拡大」を考え

ていく必要があります。女性は仲間を作ることが上手であり、グループで入会していただくことにつながるし、旦那さんをつれて入会していただくことも大いに期待できます。全国的に見ても、会員を増やしているセンターは、女性会員を増やす取組を積極的にやっていることが多いと聞いております。

こうしたことを背景として、県シ連では、女性の役員さんや職員さんが活躍できる環境をいかに整備するか、そして女性会員を増やしていくにはどうすればよいかについて、議論する必要があります。その検討チームとして、女性委員会を立ち上げることにしたものです。

あなたの生きがい、きっとここにあります。

60歳以上の女性で働く機会があるなら、ぜひお申し込みください。

動画公開中

054-254-7240

http://www.shizuoka-ksjc.jp/

(女性を意識したポスター)

## 安全・適正就業推進研修会および巡回訪問の実施

(安全・適正就業推進委員会報告)

東部、中部、西部、伊豆地区の4回に分け、密と人流の削減に配慮して開催。

愛知県連合会制作の安全就業研修DVDを視聴し、その後各SCの安全活動について発表いただき、意見交換会で情報交換、事例の共有を実施した。

安全・適正就業推進委員会では、会員が安全に就業することを目的に、令和元年から5年計画で巡回訪問を行っています。

巡回訪問では委員会委員がセンターの安全委員に同行して就業現場に伺い、作業が安全に行われていることを確認し、その後でセンターで事務局長や理事長を交えて、安全・適正就業について意見交換を行います。

地域性や規模により各センターが抱える課題には違いがあります。意見交換の際には、各センターの事例や課題を併い、好事例の水平展開や互いの課題解決につながるように情報の共有を図っていきます。

令和3年度の安全・適正就業推進研修会は東部、中部、西部、伊豆地区の4回に分けて開催し、愛知県連合会が制作した安全研修DVD「仕事の原点」を視聴した後、各センターの安全活動の発表と意見交換を



(牧之原市SC:選挙看板撤去作業現場安全パトロール)



(伊豆地区:安全・適正就業研修会)

行いました。

互いに近隣のセンターの具体的な活動の詳細を聞くことができ、この研修会をきっかけにセンター同士の交流を通じて安全活動の相乗効果が生まれることが期待されます。

事故の発生状況は、別表のとおりですが、派遣事業の事故の3分の2にあたる10件は転倒による事故でした。また、派遣就業中に大動脈解離による死亡事故がありました。持病が原因のため事故としては計上してありません。

相変わらず転倒を原因とする事故が多発しており、就業に向けて体力の維持が求められています。8ページに「転倒しないための簡単トレーニング」を掲載しましたので、見やすい場所に貼って、少しずつ運動習慣を取り入れ、転倒事故の予防に努めてください。

| 【令和3年度 巡回訪問】 |       |                                 |
|--------------|-------|---------------------------------|
| 日程           | 訪問SC名 | 訪問現場・作業内容                       |
| 10/28(木)     | 沼津市   | 東海大学跡地 草刈り                      |
|              | 裾野市   | 裾野市美化センター                       |
| 11/5(金)      | 河津町   | 今井浜別荘地 草刈り                      |
|              | 東伊豆町  | 東伊豆クロスカントリーコース草刈り               |
| 11/11(木)     | 富士宮市  | トイレットロール品質検査、梱包作業<br>医薬品工場内 草刈り |
| 10/26(火)     | 牧之原市  | 選挙看板の撤去作業<br>環境保全センター           |
|              | 吉田町   | たい肥製造作業<br>個人宅 草取り<br>小山城公園環境整備 |
| 11/12(金)     | 浜松市   | 村櫛公園 草刈り                        |
| 12/3(金)      | 菊川市   | 干し芋加工、ねぎ加工<br>個人宅 剪定・除草作業       |

| 【請負 事故件数】 (発生日ベース、令和3年4月～令和4年1月) |            |         |   |
|----------------------------------|------------|---------|---|
|                                  | 死亡・6か月以上入院 | 1か月以上入院 | 計 |
| 就業中                              | 0          | 3       | 3 |
| 就業途上                             | 0          | 1       | 1 |

| 【派遣 事故件数】 |        |
|-----------|--------|
|           | 休業4日以上 |
| 業務災害      | 11     |
| 通勤災害      | 4      |

| 【令和3年度 安全・適正就業推進研修会】 |                                     |           |
|----------------------|-------------------------------------|-----------|
| 開催日・場所               | 開催日・場所                              | SC数・参加人数  |
| 中部                   | 7/8(木) 13:30~16:00<br>静岡労政会館 視聴覚室   | 7 SC・25名  |
| 東部                   | 9/7(火) 13:30~16:00<br>Zoomミーティング    | 11 SC・30名 |
| 西部                   | 9/30(木) 13:30~16:00<br>Zoomミーティング   | 7 SC・21名  |
| 伊豆地区                 | 12/2(木) 13:30~16:00<br>修善寺総合会館 大会議室 | 8 SC・22名  |
| 合計                   |                                     | 33 SC・98名 |

# 新たな就業開拓への取り組み

(就業開拓委員会・就業促進事業)

総務省のデジタル活用支援推進事業(補助事業)における「講習会」を活用し、シルバー会員の就業を促進します。

## デジタル活用支援事業概要

- (1) デジタル活用を支援する支援員の養成
- (2) 年代間の格差解消のための方策(講習会等)の実施

\* 各地域の地元ICT企業、社会福祉協議会、シルバー人材センター等が、公民館等の公共的な場所において、スマートフォン等の基本的な利用方法やスマートフォンによる行政手続き等に関する講座を実施する。

## 「誰一人取り残さないデジタル化」へのお手伝い

富士市シルバー人材センターでは、市民会員にデジタル活用を習得してもらう事業に積極的に取り組んでいます。(本紙7ページで紹介しています)

## 事務系職種への就業開拓の取り組み

このデジタル活用の支援員の養成事業を活かし、信用金庫とセンターが業務提携をしている事務系職種への就業促進につながる取組みを強化します。また、行政、就労支援団体が主催する各種セミナーや企業説明会へ積極的に出向き、シルバー事業をPRします。



# 地域社会を担うあなたのちからを待っています

(高齢者活躍人材確保育成事業)

令和2年度講習会の成果

講習会参加者の**新規入会率が全国一**  
参加者365人のうち165人が新規入会  
(入会率45%)

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が社会的な問題となっています。県シ連では、静岡労働局から委託を受け、シルバーの新規会員及びシルバーを活用する企業を増加させるために、就業に必要な技能を身に付ける講習会や、高齢者と企業の双方がシルバーに対する理解を深める就業体験を実施しています。  
この事業は、県シ連と各センターが連携して取り組むことにより、新規会員の確保や現会員のスキルアップに大いに貢献しています。



包丁・刃物研ぎ



植木の剪定



お飾り制作



健康セミナー

| 技能講習名 |                               | 東部 | 中部 | 西部 | 計  |
|-------|-------------------------------|----|----|----|----|
| 1     | 植木の剪定、草刈り                     | 4  | 4  | 2  | 11 |
| 2     | 刈払機安全教育                       | 4  | 2  | 2  | 8  |
| 3     | 家事援助・介護、調理補助                  | 4  | 2  | 0  | 6  |
| 4     | 清掃スタッフ、マンションスタッフ              | 3  | 0  | 1  | 5  |
| 5     | 育児、子育て                        | 2  | 0  | 0  | 2  |
| 6     | 駐車場整理                         | 2  | 2  | 0  | 4  |
| 7     | 事務系補助スタッフ                     | 4  | 1  | 2  | 7  |
| 8     | ビジネスマナー、筆耕・ハン字、PC、スマホ、空家管理他終活 | 5  | 1  | 1  | 8  |
| 9     | 包丁・刃物研ぎ、障子襖貼り替え、他             | 3  | 0  | 3  | 7  |
| 10    | セミナー、説明会                      | 6  | 2  | 2  | 10 |
| 11    | 就業体験(刈払機実習・お飾り制作)             | 2  | 1  | 0  | 3  |
| 計(回数) |                               | 39 | 15 | 13 | 67 |

# 令和3年度「シルバーの月間」の取組み

(普及啓発委員会報告/普及啓発事業)

シルバー事業を広くアピールするため、「シルバーの日」である10月16日(土)に県下のシルバー人材センターが一斉に、普及啓発活動を実施する予定でしたが、残念ながらコロナ禍により活動が制限されたことから、当日、7センターが十分な感染予防に努め、キャンペーン等の活動を行いました。



**広報活動**

女性を意識した新規会員の確保やシルバーを活用する企業を増加させるため、今年度県シ連では初めての試みとしてTVCMを作成し、10月「シルバー月間」に集中的に放映しました。

(内容)

実際に就業している各市町のセンター会員さんを訪ね、入会のきっかけや仕事への想いなどをインタビュー形式で取材し、15秒のTVCMにまとめました。

それぞれの会員さんが生き生きと働いている姿を背景に、シルバーの仕事を通じてこれからも輝きたいというイメージを表現しました。

※放映規模…1ヶ月間に158本(2局)



## 地域のシルバーセンターだより

静岡県内からユニークな活動をしているセンターをご紹介します。



### 「ますます盛春農園」開園中



伊豆市シルバー人材センターでは、「ますます盛春農園事業」を実施しています。伊豆市内は耕作放棄地、遊休農地が多く、後継者不足の状況があります。農地法改正によりシルバー人材センターでも農地を借り受けが可能になったため、伊豆市からの要請もあって平成22年に事業を始めました。伊豆市と協力して、平成24年からは国・市の補助金も利用して、耕作放棄地や遊休農地の解消、また、子供たちと一緒に作業することで異世代間交流や子供の食育の推進にも寄与しています。

現在は水稻3地区と野菜畑の合計約7,434㎡を運営しています。

センターの「やさい部会」は野菜の植え付け、収穫を行います。春には、こども園の園児を招いてじゃがいもや玉ねぎを収穫します。長年の野菜づくりの経験のある会員が作業を教え、子供たちは慣れない手つきですが、楽しそうに作業をしています。収穫した野菜はイベントや事務所販売しています。また、圃場(水田)では園児たちと稲刈作業を行います。これは主食米として会員向けに販売しています。

国・市の補助金が終了して、運営には苦勞が伴いますが、会員の経験を活かした自主事業として続けていきたいと考えています。





「誰一人取り残さない  
デジタル化」へお手伝い



富士市シルバー人材センターは、今年度、会員連絡にSMSを使い始めていますが、従来から市民や会員にデジタル活用を習得してもらう事業にも取り組んでいます。

センターでは、平成17、18年度に国の委託事業（シニアワークプログラム）で市民を対象にパソコン講座を実施しました。また、この時期にセンター会員の技能向上等を目指して「パソコン倶楽部」

を創設しました。これがその後センター事業としてパソコン教室を継続実施する礎になっています。

パソコンに加えてスマホの普及が進み、使いたいが使い方がわからないという高齢者のために、令和元年度にスマホ教室も始めました。令和2年度のパソコン・スマホ教室の受講者数は延1,968人に上ります。

令和3年度には富士市からスマホ教室の事業を受託しました。また、国（総務省）の補助事業にも採択され、スマホ初心者の高齢者を対象に、文字入力やSNSの使い方など基礎から応用まで学ぶ講習会を開催しています。

これらの事業では、センター会員でパソコン倶楽部のメンバーが講師となって活躍しており、就業の幅を広げることにつながっています。また、倶楽部の会員は現在19人ですが、従来から継続的に勉強会を行っており、この熱心さが事業を支えています。



シルバーの自転車に  
乗りませんか



島田市シルバー人材センターは、島田市の駅前駐輪場の管理業務を受託していますが、平成10年7月から駐輪場内で観光レンタルサイクル事業を実施しています。

島田市内には、世界最長の木造の橋である蓬萊橋をはじめ、島田宿大井川川越遺跡、島田市博物館、ばらの丘公園など歴史・文化を中心とした観光資源があります。これらの要請も自己自主事業として始めたものです。レンタサイクルは保有自転車10台で、近年の利用状況は、貸出数が年間1,000台前後で推移し、利用者区分はおよそ県外5割、県内(市外)4割、市内1割です。利用者からは、申し込み時に蓬萊橋への道順を尋ねられたり、自転車で走って気持ちいい、楽しかったなどの感想が聞かれます。

しかし、コロナウイルス感染症の拡大による県外者の激減もあって、令和2年度の利用実績は、586台に減少しました。一方、最近では、コロナ禍の影響が、病院や墓参りに行くという市民の方の自転車利用の増加もあります。

会員は「どちらからいらっしやいましたか・いってらっしやい・おかえりなさい」と声をかけ、利用者の方と会話しながら安全走行で楽しんでいただくよう心掛けています。



編集後記

いつも通る道で春咲く花のつぼみを見つけました。このところ中々出歩く機会もへっており少しの変化も気づかないことが多くなっていました。もうすぐ春が来ることが待ち遠しいです。手洗い・うがい・換気をしっかりとし、お身体には十分に気を付けてください。

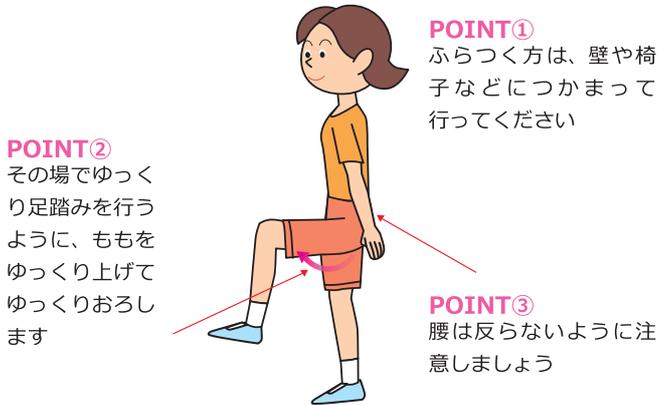
## 転倒しないための簡単トレーニング

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、自宅で過ごす時間が長くなりがちの皆様生きがいがづくりや健康づくりを促進し、安全に就業してもらおうと健康維持・増進とケガなどの事故防止を目的として自宅で行える簡単な体操を御紹介します。

### もも上げ

**効果：**もも（大腿四頭筋）、大腰筋を鍛えます  
おなかの中から、足・ももを引き上げるイメージで行うと大腰筋が鍛えられ、身体が安定します  
**目標：**左右各10回を1セットとし、2セット程度

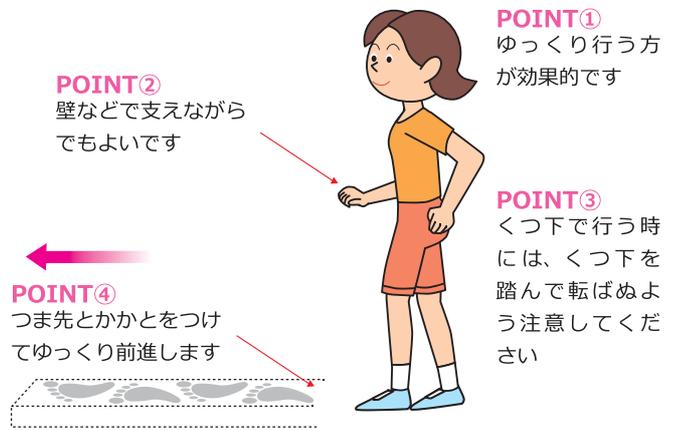
通常のもも上げ動作を行います（体に対して、ももが約90度になるくらいの高さまで）。  
☆ももを上げる際、お尻も同時に引き上げます。



### タンデム歩行（つぎ足歩行）

**効果：**バランスのとりにくい状況をあえて作り、バランス能力を鍛え、転びにくい身体を目指します  
**目標：**前に出す足のかかとを支持足のつま先に向けて、10歩前進を1回とし、2～3回程度

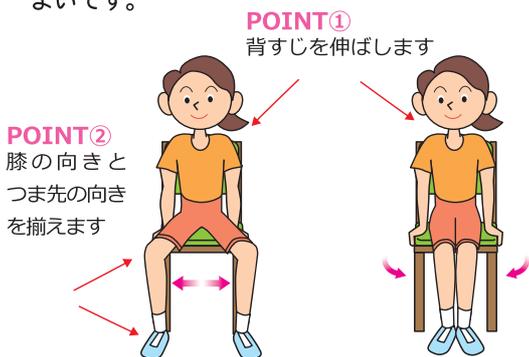
平均台の上を歩くイメージで、つぎ足歩行を行います。



### 両脚の開閉動作

**効果：**ももの内側、外側を鍛え、股関節の安定を図ります  
**目標：**開いて閉じてで1回、5～10回を1セットとし、2セット程度

①椅子の前半分に背すじを伸ばして座ります。  
②手はおしりの横で軽く椅子をつかみます。  
③両足をスライドさせるように開閉します。  
☆この時、上体はできるだけまっすぐを保ちます。  
一度に両足を開くのが大変な方は、片足ずつ行うことでもよいです。



### タオルギャザー

**効果：**足裏、足底の筋肉を動かし、鍛えます  
足指でつかむ感覚が身につくと踏ん張りやすくなります  
**目標：**足指をギュッとし、たぐり寄せ、タオルをつかむ・はなすで1回  
片足左右5～10回を1セットとし、2セット程度

①椅子に座った姿勢をとり、かかとをタオルにつけます。  
②指を大きく開き、指を伸ばしてタオルの上に指をおろします。  
③足元に敷いたタオルを足指でたぐり寄せます。  
☆必要に応じて、タオルの上に重りをのせて、負荷をかけた状態で実施することもできます。

